

平成 22 年 12 月 9 日
新庁舎 104 会議室

平成 22 年第 23 回 立川市教育委員会定例会

立川市教育委員会

平成22年第23回立川市教育委員会定例会

1 日 時 平成22年12月9日(木)

開会 午後 1時30分

閉会 午後 3時02分

休憩① 午後 1時32分～1時33分

休憩② 午後 1時36分～1時37分

休憩③ 午後 2時48分～2時49分

休憩④ 午後 3時00分～3時01分

2 場 所 新庁舎104会議室

3 出席委員 中 村 祐 治
宮 田 由 香
澤 利 夫

田 中 健 一
古 岡 邦 人

署名委員 田 中 健 一

4 説明のため出席した者の職氏名

教育長 澤 利夫
教育総務課長 小林 健司
指導課長 並木 浩子
スポーツ振興課長 伊東 幸吉

教育部長 近藤 忠信
学務課長 小林美佐子
統括指導主事 堀田 直樹

5 会議に出席した事務局の職員

教育総務課庶務係 高木 健一 黒島 秀和

案 件

1 選挙

- (1) 教育委員会委員長の選挙について
- (2) 委員長職務代理者の選任について

2 議案

- (1) 議案第33号 立川市学校教育振興基本計画について

3 協議

- (1) 教育委員会点検・評価（1次評価）について
- (2) 二学期制（小学校）について
- (3) 人事構想案（教育管理職）について（秘密会）

4 その他

平成 22 年第 23 回立川市教育委員会定例会議事日程

平成 22 年 12 月 9 日

新庁舎 104 会議室

1 選挙

- (1) 教育委員会委員長の選挙について
- (2) 委員長職務代理者の選任について

2 議案

- (1) 議案第 33 号 立川市学校教育振興基本計画について

3 協議

- (1) 教育委員会点検・評価（1 次評価）について
- (2) 二学期制（小学校）について
- (3) 人事構想案（教育管理職）について（秘密会）

4 その他

◎開会の辞

○中村委員長 平成22年第23回立川市教育委員会定例会を開催いたします。

署名委員は田中委員、よろしいでしょうか。

○田中委員 はい、承知しました。

○中村委員長 お願いいたします。

本日は選挙が2件ございます。それから議案1件、協議3件、その他は現段階で1件ですが、議事進行過程で確認いたします。

事務局の出席者の確認を近藤教育部長、お願いいたします。

○近藤教育部長 本日の出席者でございますが、私、教育部長のほか、小林教育総務課長、小林学務課長、並木指導課長、伊東スポーツ振興課長及び堀田統括指導主事でございます。

○中村委員長 よろしくをお願いいたします。

◎選 挙

(1) 教育委員会委員長の選挙について

○中村委員長 教育委員会委員長の選挙について、を議題といたします。

選挙の方法ですけれども、立川市教育委員会会議規則第6条第1項の規定によりまして、指名推薦の方法により行いたいと思いますが、いかがでしょうか。

〔「異議なし」との声あり〕

○中村委員長 異議なしということでございますので、選挙の方法は指名推薦の方法によって行いたいと思います。

どなたか指名がございますか。澤教育長。

○澤教育長 これまでの経験と実績から、中村委員長に引き続きお願いしたいと思います。

○中村委員長 ほか、ございますか。

〔「ありません」との声あり〕

○中村委員長 澤教育長の提案を承認することに異議はございませんか。

〔「異議なし」との声あり〕

○中村委員長 異議なしということでございますので、立川市教育委員会委員長は、私、中村が務めさせていただきます。そのように決定させていただきます。

委員長の任期は1年ですので、任期は平成22年12月24日から平成23年12月23日までとなります。どうぞよろしくお願いいたします。

ここで、暫時休憩させていただきます。

午後 1時32分休憩

午後 1時33分再開

○中村委員長 休憩を解いて、会議を再開いたします。

◎選 挙

(2) 委員長職務代理者の選任について

○中村委員長 次に、委員長職務代理者の選任について、を議題といたします。

委員長職務代理者の任期に規定はありませんけれども、従来どおりの1年間の任期といたしますが、いかがでございますか。

〔「異議なし」との声あり〕

○中村委員長 異議なしということでございます。任期は1年とさせていただきます。

それでは、委員長職務代理者の選任を行いたいと思います。

この選任につきましては、立川市教育委員会会議規則第6条第3項の規定によりまして、委員長選挙を準用することになっておりますので、指名推薦により行いたいと思いますが、いかがでしょうか。

〔「異議なし」との声あり〕

○中村委員長 異議なしということでございますので、選挙の方法は指名推薦の方法によって行います。

それでは、どなたか指名をお願いいたします。澤教育長。

○澤教育長 委員長職務代理者でございますけれども、現、田中委員が適任だと思いますので、ご推薦申し上げたいと思います。

○中村委員長 ほか、ございませんか。

〔「ありません」との声あり〕

○中村委員長 ただいま田中委員への指名推薦がありました。皆さん、いかがでしょうか。

〔「異議なし」との声あり〕

○中村委員長 異議なしということでございますので、立川市教育委員会委員長職務代理者は田中委員に決定いたします。

委員長職務代理者の任期は、先ほど決定したとおり、平成22年12月24日から平成23年12月23日までです。よろしくお願いいたします。

それでは、暫時休憩いたします。

午後 1時36分休憩

午後 1時37分再開

○中村委員長 それでは、休憩を解いて、会議を再開いたします。

◎議 案

(1) 議案第33号 立川市学校教育振興基本計画について

○中村委員長 議事に入っていきたいと思います。

議案(1) 議案第33号、立川市学校教育振興基本計画について、を議題といたしますので、事務局より提案をお願いいたします。澤教育長、お願いいたします。

○澤教育長 本計画につきましては、平成21年第9回定例会から継続して検討してまいりまして、前回の教育委員会のところで追加、補強意見等がございましたけれども、その方向性を踏まえて今回、議案として提案したものでございます。

詳細は、教育総務課長から説明をさせます。

○中村委員長 小林教育総務課長、お願いいたします。

○小林教育総務課長 それでは議案第33号、立川市学校教育振興基本計画について、ご説明いたします。

本計画につきましては、今、教育長からもお話がございましたように、これまで平成21年第9回、第24回、平成22年第6回、第9回、第11回、第14回、第16回、第22回と、教育委員会定例会で8回にわたってご協議いただきました。

今年の6月からは市民の方々と構成する検討委員会で十分ご協議もいただきました。

また、市議会においては、平成21年12月と平成22年9月市議会で経過をご報告させていただいております。本年10月には、素案につきましてパブリックコメントを実施し、市民からもご意見をいただいております。

以上の経過を踏まえ、取りまとめたものが本日お手元にお配りした計画案でございます。内容につきましては前回の定例会で報告したとおりで、一部、委員のご意見をいただきました部分につきましては訂正をさせていただいております。

本日、本計画についてご決定いただきまして、成案といたしまして、議会及び市民の皆様へ公表してまいりたいと考えております。ご審議よろしくをお願いいたします。

○中村委員長 提案ありがとうございます。今、澤教育長及び小林教育総務課長から説明がありましたとおり、平成21年第9回定例会から継続的に、定例会での協議や報告あるいは検討委員会、パブリックコメントなど行き来しながら策定してきました。そして第22回定例会で最終の協議をして、特に田中委員からご意見をいただきました表記の精査をして、今日は最終の確認段階という位置づけでよろしいと思います。

審議は十分尽くしてきたと思いますので、前回の協議内容を踏まえまして、さらに何かご意見などありましたらお願いいたします。先ほど小林教育総務課長からありましたが、8回ほど審議してきたものでございますので、最終確認でよろしいと思いますが、いかがでしょうか。ご意見、その他ありましたらお願いしたいと思います。

〔「ありません」との声あり〕

○中村委員長 それでは、皆さん特にご意見がないということでございますので、議案第33号、立川市学校教育振興基本計画について、お諮りいたします。

議案のとおり承認することに異議はございませんか。

〔「異議なし」との声あり〕

○中村委員長 異議なしと認めまして、議案第33号、立川市学校教育振興基本計画について、

は承認されましたので、事務の手続きをよろしく願いいたします。

また、先ほど小林教育総務課長からありましたが、議会あるいは市民の皆様への広報活動についてもよろしく願いしたいと思います。

これが決まりましたので、教育目標の改定やあるいは学校教育の指針、その検討についても今後進めるということになると思いますので、よろしく願いいたします。

議案を終了いたしまして、協議に移っていききたいと思います。

◎協 議

(1) 教育委員会点検・評価(1次評価)について

○中村委員長 協議(1)教育委員会点検・評価(1次評価)について、協議いたしますので、事務局より提案説明をお願いいたします。澤教育長、お願いいたします。

○澤教育長 この点検・評価につきましては、前回もご協議いただきまして、皆様からコメントも出していただきました。今日はそれに沿ってご提案でございますけれども、詳細は教育総務課長から説明をさせます。

○中村委員長 小林教育総務課長、お願いいたします。

○小林教育総務課長 教育委員会点検・評価(1次評価)について、ご説明いたします。

お手元に配付しました資料は前回の第22回定例会におきましての協議を踏まえまして、その後、各委員の皆様からいただきました個人の評価を事務局で原文のまま写したものでございます。

表記につきましてはですが、各委員の皆様の評価内容が、課題に係わるものと成果に係わるものの内容が含まれておりましたので、分かりやすくするために、上段に成果、下段に課題という形で分けて表記させていただきました。

本日はこの資料をもとに、教育委員会における1次評価についての方向性をご議論いただければと思います。以上、よろしくお願いします。

○中村委員長 提案説明ありがとうございました。

今、小林教育総務課長からありましてとおり、昨年より改善されたのは、昨年は私どもの意見が課題と成果が全部一緒だったのですが、成果と課題とがきちんと分けて表記されたという点は明確になって改善されたと思います。私も委員からの1次評価の取りまとめ、大変だったと思いますが、事務局ありがとうございました。

提案説明にありましてとおり、第22回定例会での協議を受けて、委員の皆様からいただいた1次評価の評価資料を委員会組織としての方向性を決めていくことが提案されたものです。

まず、本日の協議の手順をお諮りしたいと思います。本日は外部評価委員のコメントをいただくために、教育委員会としての1次評価のコメント及び評価についての方向性を出すために、Ⅰ「教育委員会の活動の点検・評価」、6活動各々について、Ⅱ「教育委員会の施策の点検・評価」、16施策を個々について協議していきますが、それでよろしいでしょうか。

〔「はい」との声あり〕

○中村委員長 異議なしということでございますので、事務局評価をされ、また今回は皆さんのコメントを整理していただいた教育長から提案がございますので、まずそこをお聞きしたいと思いますが、澤教育長、お願いいたします。

○澤教育長 これから個々にご協議いただくわけでありますけれども、私からの提案は評価についてであります。まず委員のコメントを基本に効率的に論議を進めていくために、集約的に私のほうから評価提案をさせていただきまして、その評価について議論していこうと思います。

その評価のコメントについては、その過程の中で皆さんのご意見やキーワードを事務局で整理させていただいて、評価の方向性に沿って取りまとめていきたいと思っておりますので、よろしくお願いしたいと思います。

○中村委員長 澤教育長から提案いただいた評価を中心に本日は方向性を決めて、コメントについては評価を参考にしながら主に事務局で集約してまとめていただくという、そういう趣旨の提案がございましたが、そういう方法で進めてよろしいでしょうか。

〔「結構です」との声あり〕

○中村委員長 結構ですということでございますので、澤教育長から提案いただいた方法で進めていきたいと思いますが、効率的に論議を進めていきますけれども、点検・評価が基本方針の趣旨に示してあることを根底におきながら論議していきたいと思います。

それでは、先ほど手順についてお諮りして了解いただきましたので、教育委員会の活動の点検・評価、6活動を協議していきたいと思います。

まず、「教育委員会の会議の運営に関すること」、澤教育長、お願いいたします。

○澤教育長 3ページですけれども、「教育委員会の会議の運営に関すること」でございます。私の取りまとめた評価は、A評価でございます。

これは、昨年度はB評価、平成19年度はA評価ということだったのですが、ここに記載されているとおり、年間スケジュールに基づいて計画的、効率的に会議の運営をしたこと、勉強会の開催によって多くの知識、情報等、多様な視点を持った協議ができたこと、それから、若干年間スケジュールの改善の余地はあるにしても課題は小さいことから、評価としてはA評価というふうに私は判断をしました。

○中村委員長 評価について、いかがでしょうか。田中委員。

○田中委員 今、教育長からお話のあったとおり、私も評価はAで結構だと思います。

○中村委員長 わかりました。

特にコメントがなければ、先ほど言ったとおり、点検・評価の趣旨はもちろん十分重んじながら効率的に進めていきたいと思っておりますので、コメントはここに書いてある趣旨で結構だと思いますので、それでよろしいですね。

○田中委員 こちらの課題については割合小さい課題ですので、これで結構だと思います。

○中村委員長 小さいところについては事務局でも判断いただいておりますので、前回の第22回定例会で協議して事務局でも揃んでいると思っておりますので、そういう点は、今回はできる限

り効率的に進めていきたいと思います。

次の「教育委員会の会議の公開等に関すること」について、澤教育長、お願いいたします。

○澤教育長 4 ページですが、「教育委員会の会議の公開等に関すること」でございます。

結論から申しますと、B評価であります。

平成 19 年度はA評価、平成 20 年度はB評価ということでございましたけれども、情報公開は有効でありますけれども、さらに市民の関心を高めていくにはどうしたらいいかということが一つの課題だと思っておりますので、その意味では課題は残っておりますので、B評価というふうにしました。

○中村委員長 今、澤教育長から提案がございました評価について、いかがですか。よろしいですか。

〔「はい」の声あり〕

○中村委員長 そういうことで、コメントについては、事務局で取りまとめをよろしくお願ひしたいと思います。

次にいききたいと思います。「教育委員会と事務局との連携に関すること」、澤教育長、お願いいたします。

○澤教育長 5 ページであります。結論から言うと、事務局評価と同様にA評価をつけました。

これは、いろいろな場面でのコミュニケーションも図られておりますし、機能分担をしていく上での共通基盤は整ったと思っておりますし、明白な大きな課題という意味ではないので、昨年度はB評価でありますけれども、A評価にさせていただきます。

○中村委員長 昨年度、事務局評価がA、私どもの評価でBにしたのですけれども、教育長のほうから、そこは改善されているということでA評価の提案がございましたが、いかがでしょうか。

田中委員、お願いいたします。

○田中委員 今、教育長からお話があった、私もA評価でいいと思います。

○中村委員長 ほか、よろしいですか。

〔「はい」との声あり〕

○中村委員長 では、Aで通過していきたいと思います。

次に「教育委員会と市長との連携に関すること」に移っていききたいと思います。澤教育長、お願いいたします。

○澤教育長 6 ページになります。「教育委員会と市長との連携に関すること」、でございますけれども、結論から言いますとA評価でございまして、ここ数年だいたい2回、有効に市長との懇談も行っておりますし、教育委員会全体としての意見も申し上げているし、各委員の思いも申し上げているということで、連携は図られているという判断をしておりますので、3回というご提案もありますけれども、この件については全国的には1回というところが多い中で、立川は2回、懇談をしておりますので、私はA評価と思いました。

○中村委員長 Aという提案をいただきました。

皆さんからいかがでしょうか。田中委員。

○田中委員 私も澤教育長のおっしゃったA評価でいいと思います。

あと、課題で「3回へ増やし」というのがありますが、これは現行どおり2回で、内容をしっかり充実し連携強化を図ると、そういうことでよろしいかと思います。

○中村委員長 3回、2回ということは、今の田中委員のご意見を参考にしながら事務局レベルで判断していただければ、ここで皆さんに諮る必要はないと思いますので。

ただ、課題については市長部局と我々との機能分担といえますか、だんだん見えてきたという感じでございますので、課題は確かにありますけれども、これは我々としてというよりも全国レベルからすればという意味かもしれません。

宮田委員、お願いいたします。

○宮田委員 全国レベルからすれば2回ということで十分かと思います。回数というよりは、やはり今後さらに方向性を見出すための懇談のあり方を考えていく必要はあるかと思います。

○中村委員長 課題はここに明確に書いてありますのでね。では、よろしいですか。

〔「はい」との声あり〕

○中村委員長 続きまして、これは厳しくいきたいところですが、「教育委員会会議の充実に向けた委員の研鑽に関する事」ですが、澤教育長。

○澤教育長 私はこれについては結論から言うとA評価でいいと思っています。

特に勉強会等のことも含めて、非常に各研修会の参加等もしておりますし、その意味では必要な研鑽はしっかりしていますし、そういう意味では評価できると思います。昨年はB評価でありましたけれども、A評価でいいと思っています。

○中村委員長 いかがですか。田中委員。

○田中委員 澤教育長の評価、A評価にしていきたいと思います。

なお、課題について、事務局で精査していただきたいのですが、そこに出ている「勉強会の運営方法の改善が課題である」と。

私は、勉強会についてはそれぞれが決めたテーマがあるわけですから、それに沿って結構な時間をとって発表し、そこで話し合いをもっているわけですので、むしろ運営方法よりも内容の充実、そういうようにしていただきたいと思っています。

○中村委員長 勉強会をしているところというのはそんなに多くないと思いますが、我々の委員会を活性化させるため、それから、基本方針に立って我々がここで議論をするための基礎勉強という感じで、そこで決定ということではございませんので、あくまでもこの会を活性化させるための下地づくりということでございます。

私はBかなという感じですが、皆さんAということでございますので、Aということでいきたいと思います。

宮田委員、お願いいたします。

○宮田委員 さらに地域の実情ですとか、学校教育だけではなく立川市全域の社会教育の領域にもわたって、その実情をもう少し把握できるようにそういったところに出向くという、要

するに目的を持って出向くということが必要だと思います。さらに、その目的をこの委員 5 人で共有するという時間がまだ足りないというふうに思いますので、今後はそういうことで努めたいと思いました。

○中村委員長 学校訪問等は我々としてはかなり出かけていますけれど、ほかの社会教育施設その他についてはもう少し行く必要があるというご判断ですね。

澤教育長、お願いします。

○澤教育長 今回、指定管理者のところは計画に入っておりますけれども、その他も含めて、今、宮田委員のおっしゃったことは確かにあると思います。だけど評価としてはA評価で、先ほど田中委員から話がありましたが、私も勉強会の運営方法は特に問題ないと思っておりますし、あとは中身の問題かなと思っています。

○中村委員長 では、よろしいですね。

〔「はい」との声あり〕

○中村委員長 「学校及び教育施設に関すること」、澤教育長、お願いいたします。

○澤教育長 これにつきましては、結論から言うと事務局はA評価をつけておりますけれども、やはり課題としては残っている部分がありますので、B評価のほうがいいのかなというふうには思っていますが、ここは分かれたところです。

○中村委員長 澤教育長からB評価という提案がございました。事務局は昨年もA評価で、私どもはB評価ですね。

宮田委員、お願いいたします。

○宮田委員 主な取り組みとして「小中学校研究発表会訪問 運動会等参加」、2つになっているので、ここから評価をしたほうがよろしかったのでしょうか。

施設に関することで、評価の視点がちょっと分かりづらかったのがあったのですが、研究発表会訪問というのは皆さんされてきたと思いますし、その実情も理解できたと思うのですが。

○中村委員長 上の活動の現状に書いてあることでいいと思いますが。

古岡委員、お願いします。

○古岡委員 学校訪問や研究会の見学などは非常に積極的に私もやったつもりでして、十分にやっていると思いますので、ここはあまり謙虚になり過ぎずAでいいのではないかと思います。これ以上のことはできないぐらいやっていると思いますので。

○中村委員長 宮田委員。

○宮田委員 例えば運動会ですとか、日程的に重なっていたりとか、そういったことですべてを網羅した参加というのは非常に厳しかったかなというふうに思うのですが、そういったことを基準として評価するのか。

○中村委員長 澤教育長。

○澤教育長 ここは評価軸というか、対象活動の内容が当初、学校及び教育施設に関すること、ということで捉まえていますから、たぶん実際の取り組みは学校訪問と運動会等の参加しか

ないのですけれども、この辺のことは来年度の評価を少し変えていく必要があるかもしれませんし、その意味では、学校訪問等については教育委員の皆さんは大変熱心にやっていたいておりますから、私はここはAかBか分かれたところですが、A評価でもいいのかなと思いつつもBという評価とさせていただきました。

○中村委員長 古岡委員からAとありましたけれども、私は先ほどの委員の研鑽に関することで教育施設を含んでいますから、学校教育に対してはそうですけれども、教育施設については課題もありますので、私のほうから皆さんの意見を集約してもう一回提案いたします。

教育長提案どおり、Bでよろしいですか。

田中委員、お願いします。

○田中委員 私は澤教育長と同じB評価にしています。それは、ここで「学校及び教育施設」ということで、委員長がおっしゃった社会教育施設をある程度含めて、今後もしっかり現状を把握して、きちんとした評価をしていきたいという意味で私はBにいたしました。

○中村委員長 宮田委員。

○宮田委員 参加だけではなく、それをふり返って共有して、さらに次につなげるというところは不十分だと思いますので、私もBでいいと思いました。

○中村委員長 澤教育長。

○澤教育長 ここをB評価にした背景というのは、これから学校訪問のあり方も少し変えていくという委員長のご挨拶にもありましたけれども、そういう意味を含めるとまだ課題は少し残るので、私もB評価というふうに言っているのですが。

○中村委員長 個人の意見は違っていいわけですので。

そうしましたら、挙手をする必要もなくBのほうが多いということでございますので、B評価とさせていただきます。

それでは、6活動すべてを通して何かございますか。

〔「ありません」の声あり〕

○中村委員長 それでは、「教育委員会の活動の点検・評価」の6活動についての協議を終了いたしますので、次は、Ⅱ「教育委員会の施策の点検・評価」、16 施策を協議いたしたいと思いますので、先ほどと同じようにやっていきたいと思っております。

はじめに「生涯学習支援体制の整備」について、澤教育長、お願いいたします。

○澤教育長 10 ページでございますが、「生涯学習支援体制の整備」ということで、これは、私はB評価にいたしました。

これはやはり一定の成果を上げていることもありますけれども、取り組むべき課題もここに書かれているとおりの幾つかありますので、昨年もB評価でございましたけれども、今年もB評価で、もう少ししっかりやっていくということだと思います。

○中村委員長 かなり課題が多いけれども、澤教育長からはBということでありましたが、いかがでしょうか。よろしいですか。

〔「はい」との声あり〕

○中村委員長 では、これはBということで通過させていただきたいと思います。

次に移ります。「ライフステージに応じた生涯学習活動への支援」について、澤教育長、お願いいたします。

○澤教育長 これも昨年、一昨年もB評価でずっときていまして、内容的にいうとB評価でいいと思いますけれども、ただ、「ライフステージに応じた活用に向けた取組が見えにくい」という評価がありますけれど、まさにその部分があるのかなと思っていまして、ただ、内容的には八ヶ岳の管理運営事業がそれに当たっているので、施策を少し厚くするのかしないのかも含めて、やはり議論することがあるのかなという意味では、B評価です。

○中村委員長 タイトルと事業内容が一致しないということもあるかもしれませんね。

○澤教育長 そうですね。

○中村委員長 それは再来年、第3次基本計画の段階からまた見直していくと思いますけれども、教育長提案のB評価でいかがですか。

〔「結構です」との声あり〕

○中村委員長 我々も、組織としてもBということで捉えていきたいと思います。

次に「生涯学習を通じた地域への参加と地域コミュニティづくりの促進」について、澤教育長お願いいたします。

○澤教育長 12 ページでありますけれども、「生涯学習を通じた地域への参加と地域コミュニティづくりの促進」ということで、教育分野で取り組みをしているわけではありますが、これも昨年、一昨年B評価でございますけれども、今回もB評価ということで、確かに地域課題をどうするかというところで、年間を通して解決していくしくみづくりはまだまだのところがありますし、コーディネーターのこともございますので、その意味では、まだまだB評価かなと思っています。

○中村委員長 前回でしくみの整備については皆さんからご意見が出たところだと思います。その前回の協議をもとに皆さんに個人コメントを記入していただいたわけですが、教育長からB評価ということでございましたが、いかがでしょうか。

〔「結構です」との声あり〕

○中村委員長 わかりました。B評価ということで進んでいきたいと思います。

次に「確かな学力の育成」でございますが、澤教育長、お願いいたします。

○澤教育長 13 ページであります。「確かな学力の育成」ということで、これも施策的には2年、B評価ということでありました。

やはり学力の定着には一定の成果が私はあると思っていますけれども、ただ課題もあるということですので、これはB評価が妥当ではないかというふうに思いました。

○中村委員長 昨年もかなり議論して、事務局評価は平成19年度A評価、平成20年度A評価なんですね。私どもの1次評価は2年続いてB評価だったんですね。かなり議論して、確かに成果は上がっているけれども、目標設定というのがもう少し上を向いていかなければいけないという意味もあってBになったと思うのですが、澤教育長の提案に対していかがでしょ

うか。

古岡委員、お願いします。

○古岡委員 今かなり水準としても上がっていると思いますし、日本全体が読解力も上がっているとか、そういうことも言われていますし、私ども学校訪問をしましても活発に勉強されていていいと思いますけれども、今のような向上を目指してということであれば、余地を残してBでいいと思います。

○中村委員長 特に立川市は教育研究をきちんと各学校で位置付けて、その充実を図ることも課題としてありますし、それから、学力向上の根底に本や新聞を読む子どもは学力が高いという相関についても以前、澤教育長から報告がありました。また、図書館の整備ということについても今後、中学校について課題ということもあると思います。

澤教育長、お願いします。

○澤教育長 ちょうど今日、校長会がありまして、その席上でお話申し上げたのは、国の教育政策研究院、あそこで校内研究と学力との関係が初めて計数的に分析できたという論文が載っています。それを紹介したこともあります。ただ、立川の場合は全校で研究体制をとっていますので、それが早く実を結ぶといいなと思っていますが、そういう意味ではB評価ということです。

○中村委員長 それから、教育センターの活用は今年発足したばかりで課題もあります。Bでよろしいでしょうか。

〔「はい」との声あり〕

○中村委員長 では、Bということで進めていきたいと思います。

その次は「豊かな心の育成」でございます。澤教育長、お願いいたします。

○澤教育長 14 ページ、「豊かな心の育成」でありますけれども、立川の場合は3つの柱ということで、先ほどの研究と地域との連携とこの人権は3本柱の一つとして取り組んでいるわけですが、先ほどの学力と同じところがありますけれども、成果が即表れる施策でないものもありますので、そういう意味では、まだまだ努力の余地がありますので、昨年、一昨年も同様B評価ということで、一定の成果はあるものの、大きな課題は今のところ起きておりませんけれども、この分についてはB評価で一層の努力が必要というふうに評価をしたいと思っています。

○中村委員長 事務局評価は澤教育長からありましたように2年続いてA、しかし我々の1次評価はB、Bときていたわけですが、Bという提案をいただきました。確かに成果は上がっているけれども、非常に地道な努力が必要で、すぐ成果が表れるというものでないし、やはり努力を続けなければいけないという点でBということだと思いますが、いかがですか。

〔「はい」との声あり〕

○中村委員長 では、Bということでいきたいと思います。

次は「健康・安全教育の充実」でございます。澤教育長、お願いいたします。

○澤教育長 これにつきましても、特に昨年はインフルエンザの対応等がございまして、的確

に対応はできたということはありませんけれども、トータル的にみると健康・安全教育の充実については一定の成果を上げていることは評価しておりますけれども、まだまだ努力は必要という意味でB評価、昨年、一昨年もB評価です。

○中村委員長 事務局もB、B、1次評価もB、Bです。これは、やはり子どもたちの健康安全に関してはいつも兜の緒を締めていかなければいけないという戒めも含めてBという意味もあると思いますけれども、古岡委員、お願いいたします。

○古岡委員 教育長のおっしゃることはもっともですが、栄養士が小中学校においてTT形式でワークショップを実施しているということは、私は大変評価しております。

○中村委員長 ありがとうございます。

本当に昨年はインフルエンザ対策で修学旅行が全国的に中止したところ、立川はケース・バイ・ケースできちんとその状況を把握しながら、きめ細かな対応をしていったということはあったと思います。

では、よろしいですか。

〔「はい」との声あり〕

○中村委員長 次に進んでいきたいと思います。「ニーズに応じた教育への支援」でございます。澤教育長、お願いいたします。

○澤教育長 16 ページ、「ニーズに応じた教育への支援」については少し悩んだところがございます。というのは、ニーズに応じた教育への支援ということで立川の場合はかなりきめ細かな教育施策をとって、人的な問題も含めてとっているわけでありまして、その意味ではニーズを捉えて適切な支援をして成果を上げているという認識はありますけれども、ただ、コメントの中で課題もあるということが書かれておりますので、ここは私的にはAという評価も当然あるんですけれども、課題という意味での委員の認識がありますので、これはB評価ということで、昨年も一昨年もB評価ということになっています。

○中村委員長 事務局評価はA、Bときて今年はAですけれども、1次評価はB、B、Bです。確かに成果を上げている反面、成果を上げることから見える課題も出てきたと。ですから、この問題に関しましては永遠に続く課題と言えるかもしれないですね。Bということでございますが、いかがですか。よろしいですか。

〔「はい」との声あり〕

○中村委員長 澤教育長。

○澤教育長 課題の中で「大きな課題である」という表現がありますけれども、私は大きな課題ではないというふうに思っておりますので、その意味でB評価です。大きな課題ですとC評価になってしまいますので。

○中村委員長 そのコメントに関しては評価の意味に含まれていますので、BとしたらBなりのコメントを事務局でやっていただくということになると思います。

○澤教育長 そういうふうにさせていただきたいと思います。

○中村委員長 次に「開かれた学校づくりと市民連携」について進めていきたいと思います。

澤教育長、お願いいたします。

○澤教育長　ここは、平成 13 年度から実施された学校評議員制度がしっかり定着しつつありますし、教育情報紙も大変好評といえるでしょうか、市民の皆さんに全戸配布をしております。

ただ、ここに書かれているとおり、幾つか課題はあることは間違いないので、これは制度的な課題と情報ツールの課題、また、「たち」の回数を 3 回にというご提案もありますが、今の現状の中では予算の問題等の理由で難しい面もあるかと思います。

ただ、ここに書かれている課題は B にするほどの課題ではないということになりますと、私は A 評価で、昨年も A 評価です。

特に学校は今、1 万人を超えるボランティアの人が学校に入っています。立川の学校というのは先ほど言いました地域連携と研究事業と人権、この 3 つを柱にしておりますので、その意味では開かれた学校づくりと市民連携は、私は評価できるというふうに思っていますので、昨年同様の A 評価でいいのではないかと思います。

○中村委員長　平成 13 年から実施された学校評議員制度というのは、立川なりに地域に根づいて少し進展していると。もちろん課題はあるわけですが、ここでは課題がかなり書いてありますけれども、成果のほうが大きいということで教育長から A 評価という提案がございましたが、いかがでしょうか。

古岡委員、お願いいたします。

○古岡委員　A でももちろんいいと思います。立川市医師会でも学校医を仰せつかっている医師には、「たち」を読むように薦めています。

○中村委員長　回数はここでは議論する必要はないと思いますので、ほか、いかがですか。よろしいですか。

〔「はい」との声あり〕

○中村委員長　次は「教育環境などの整備」に進んでいきたいと思います。

澤教育長、お願いいたします。

○澤教育長　18 ページであります。全体的には厳しい財政状況の中で、特に耐震補強工事などもそうですけれども、かなり重点的に予算を投入いたしましたし、あとは新学習指導要領に向けた教材整備なども充実して予算化できました。

その意味では教育環境の整備というのは一定程度評価しておりますけれども、ただ、ICT の関係のこと、エアコンの問題もここに出ておりますけれども、そういう面でいくと、やはり少し老朽化対策なども課題がありますので、ここは B 評価が妥当ではないかというふうに思います。

○中村委員長　ICT についてはこの間、市長懇談の中でも出てきた問題ですから、市長部局も立川は若干遅れているということの認識はあったようでございます。

B という提案でございますが、いかがでしょうか。

〔「はい」との声あり〕

○中村委員長　わかりました。B ということでしていきたいと思います。

次に「高等学校教育との連携」について、澤教育長、お願いいたします。

○澤教育長 19 ページですが、「高等学校教育との連携」ということで、都立高等学校との連携で部活動の体験でありますとか、幾つか学習指導も含めて、ここに書いてあるとおりの一定の成果は、平成 19 年度は C 評価でしたので、それに比べると進んではいる。

そうは言ってもここに書かれているような課題があります。一定の成果は上げていると思っておりますけれども課題はまだありますので、B 評価です。

○中村委員長 では、B ということでいかがですか。

〔「はい」との声あり〕

○中村委員長 では、B でいきたいと思います。

次は「高等教育機関の活用と連携」について、澤教育長、お願いいたします。

○澤教育長 20 ページですけれども、事務局評価にも書きましたとおり、ここで幾つか新しい、国の機関等との連携も進んでおりますので、そういう意味では一定の成果を上げていると思います。しかし、そうはいつでも中身の問題もいろいろありますので、この意味では B 評価、昨年、一昨年も B 評価ということでもあります。

○中村委員長 では、B 評価でよろしいですか。

〔「はい」との声あり〕

○中村委員長 B でいきたいと思います。B で組織、方向性を決めていきたいと思います。

次、「市民の自主的な学習活動やコミュニティ活動などへの支援」、お願いいたします。

○澤教育長 21 ページですが、ここにつきましては非常に評価の部分が分かれたのですけれども、結論から言うと、私は C 評価ですが、ただ、ここは平成 19 年度 B 評価、平成 20 年度 B 評価ということで非常に評価が分かれているところでありまして、確かに施策が評価できる段階ではない、あるいは取り組みが進んでいないというような平成 21 年度段階のコメントはありますけれども、ただ、地域学習館運営協議会準備会も立ち上がっていますので、その前提のことを考えれば B 評価でもいいのかと思うのですが、事務局は C 評価でありますので、結論的に言えば、B に近い C というようなニュアンスです。

○中村委員長 古岡委員。

○古岡委員 私も個人として、教育委員としまして、先日の日曜日など、立川市民会館で行われたギター演奏会に行きまして、委員として努力していますので、ここはそういう努力も汲んでいただいて B にしていただきたいと思います。

○中村委員長 宮田委員、お願いいたします。

○宮田委員 限界ではないかと思います。ですので、C まではしなくても B 辺りでというふうに思います。かなり努力していると思いますし、その中では十分な成果は出ていると思います。

支援と言いましても市民自身の活性化といいますか、活動への支援ですから、活動自体のボトムアップということも必要な部分であるし、そこまでの支援をする活動の支援なのかどうかというところはここでは読み取れませんので、そうすると活動していくスペースという

ものの提供、場所の提供ということは十分なされていると思います。

社会的にも今、コミュニティづくりに対する専門家というものの必要性を謳われていますので、この施策に関しては、私は評価はBでよろしいかと思います。

○中村委員長 今お二人からBという意見がありましたが、田中委員、伺いたいと思います。

○田中委員 私の場合は、いろいろな議論の中で地域課題に即した地域活性化、そういうことを積極的に行っているわけですね。それは成果が上がっていますので、Bということです。

○中村委員長 3人からBということでございますので、教育長も迷いながらという提案もありましたので、私が決断するまでもなく皆さんのご意見でBということでよろしいですか。

〔「はい」との声あり〕

○中村委員長 C提案でしたけれど、委員会としてはBということにしていきたいと思います。

次、「図書館における資料・情報の提供や読書活動の推進」について、お願いいたします。

○澤教育長 22ページですけれども、ここも前年、前々年B評価ということで、図書館の指定管理者制度の導入の効果も期待される部分もありますけれども、ここに書かれているとおりB評価ということで、幾つか課題、検証がありますので、B評価ということにさせていただきます。

○中村委員長 Bでよろしいですか。

〔「はい」との声あり〕

○中村委員長 では、Bということをお願いしたいと思います。

次に「スポーツ活動の支援・促進」、澤教育長、お願いいたします。

○澤教育長 23ページでありますけれども、これは第2次スポーツ振興計画による施策は一定程度評価をしておりますし、事務局評価で書かれておりますが、「スポーツゲームス」というのは小さな子どもさんから中学生ぐらいまでの、かなりきめ細かな施策で取り組んでいますので、私はA評価でいいのではないかと考えています。

ただ、課題に書かれていますとおり、総合型地域スポーツ推進の問題でありますとか、その辺のところは少し弱いのではないかなというような評価があります。スポーツ活動の支援・促進としては国体の問題もありますけれども、やはりA評価でいいのではないかと考えていますが、平成19年度A評価、平成20年度B評価ですね。

○中村委員長 事務局としてはAという提案をいただきました。皆さんいかがですか。

古岡委員、お願いします。

○古岡委員 教育長がおっしゃるとおりAでいいと思います。東京ヴェルディの「スポーツゲームス」について、内容からみましても継続実施ということで、Aでいいと思います。

○中村委員長 宮田委員。

○宮田委員 確実に成果は上がっていると思います。また、指定管理者制度についての市民からの声も、大変有効というふうに聞いています。

○中村委員長 では、Aでよろしいですか。

〔「はい」との声あり〕

○中村委員長 続きまして「学校施設の有効活用」について、お願いいたします。

○澤教育長 24 ページです。学校施設については、かなり有効活用されている現状だとは思いますが、ただ、ほかの委員からの意見では、さらなる拡充でありますとか、教室の開放も望まれるということが出ておりまして、教室についてはスポーツ振興課でどういうふう
に活用するかいろいろあるんですけれども、このところの評価としてはB評価ということで
いかがでしょうか。

○中村委員長 提案はBということでございますが、いかがですか。

〔「結構です」との声あり〕

○中村委員長 結構ということでございますので、Bにしていきたいと思います。

最後になります。「伝統的文化の保存・継承」について、澤教育長、お願いいたします。

○澤教育長 25 ページ、「伝統的文化の保存・継承」でありますけれども、ここにつきまして
は、事業あるいは研究活動を含めて成果は上げていることと思います。ただ、昨年もそうだ
ったのですが、文化財の保存・活用を推進するという課題ということで、事務局はB評価に
しておりますけれども、一昨年、昨年A評価できておりました。

ただ、コメントの「市民が郷土の歴史や文化財を身近に感じられるようなくみづくり」
というのが課題と言えば課題ということになるとここはB評価ですが、従前のやり方からみ
ればA評価でもいいのかなと思います。ここは悩んだところです。結論はB評価です。

○中村委員長 Bという提案でございますが、いかがですか。

古岡委員、お願いいたします。

○古岡委員 歴史民俗資料館も一般新聞にも取り上げられておりますし、先ほど教育長がおっ
しゃったように、砂川闘争に関しても旧砂川支所に、非常に来場者数も多いそうです。市民
の憩いの場でもあると思いますし、Aでいいのではないですか。

○中村委員長 宮田委員。

○宮田委員 昨年の評価のときより、はるかにいろいろな成果が出ていると思いますので、そ
ういう意味で、期待を持ってBにしておいて今後の期待という考えもありますけれど、あえ
てそこまで厳しくせずに、現状は十分に課題は克服してきつつあるということで、Aで私は
いいと思います。

○中村委員長 田中委員。

○田中委員 結論から言えば、評価はAにします。

理由としては、歴史民俗資料館、古民家園などの諸活動を含めて非常に実績を上げていま
すし、さらに、市民が郷土の歴史や文化財を身近に感じている、そういうことを含めてA評
価です。

○中村委員長 わかりました。

だからといって課題がないというわけではなくて、課題はきちんと明確に捉えられていま
すから、そういう意味を含めてAのご意見が多いので、Aということにしていきたいと思
います。

では、「教育委員会の施策の点検・評価」16 施策についての協議を終了いたしますが、この16 施策について全体を通して何かございますか。

田中委員、お願いします。

○田中委員 16 施策含めて、全体に係わって、事務局でまとめていただく段階で配慮していただきたいと。それは昨年度の評価、今年度の評価、コメント、もう少し継続性あるいは連続性をきちんと考えて整理をしていただくとありがたいと思います。

○中村委員長 これは私からもお願いということでございましたけれども、継続性というのは大事なことでございますので、それを重視していただきたいというご意見でございました。ほか、ございませんか。

〔「はい」との声あり〕

○中村委員長 ないようでしたら協議のすべてを終了したいと思います。6 活動、16 施策について、評価については今日協議したことで確認してよろしいですか。

〔「はい」との声あり〕

○中村委員長 コメントについて、まとめ方については田中委員からも意見がありましたけれども、今日いただいた評価の方向性に沿って、皆さんからいただいたキーワードや意見を参考にして、事務局で集約して取りまとめていく方向でよろしいですか。

〔「はい」との声あり〕

○中村委員長 それでは、協議（1）教育委員会点検・評価（1 次評価）について、はすべて終了いたします。

事務局の方、大変だと思いますが、基本方針の 4、点検・評価の流れにある次のステップの 5 の評価表を作成していただいて、今言った施策の継続性を重んじてまとめていただいて、外部評価委員への提出、説明の事務処理をよろしくお願いいたします。

◎協 議

（2）二学期制（小学校）について

○中村委員長 次は協議（2）二学期制（小学校）について、協議いたしますので、事務局より提案説明をお願いいたします。並木指導課長。

○並木指導課長 それでは、資料に基づいて報告をさせていただきます。

「立川市立小学校における二学期制の実践検証について」ということで作成いたしました。

この小学校においての二学期制の実践検証を行いました実施校、立川市立上砂川小学校において、検証期間、平成 14 年 4 月から平成 23 年 3 月まで、9 年間にわたる検証の結果の報告がございましたので、そのことの報告でございます。

この上砂川小学校で二学期制を導入いたしました経過は、ちょうど平成 14 年度から学校週五日制が導入されたことに伴い、授業時数の確保、それから、このときに同時に学習指導要領の改訂がございまして、総合的な学習の時間というものが新しく入ったところにおいて、この総合的な学習の時間の学習評価また学習指導には、調べ学習をやって、子どもたちが自

分の生き方を考えるような、そういった学習活動になるためには一定の長い期間での指導計画が必要ということから、二学期制の導入を図ったと、そのような経緯がございます。それがお示ししました資料3の(1)と(2)でございます。

特に総合的な学習の時間については、問題解決型の学習が推進されている経過がございましたので、十分な学習期間を確保する、そういったことに着目して研究に取り組んでまいりました。

上砂川小学校において二学期制を活かした取り組みとしては主なものが5点ございます。

(1) が、長期的に習熟度別指導等の個に応じた指導を行い、児童の基礎・基本の定着を図ったこと。

(2) 児童の興味・関心、思考・判断、技能・表現等の観点から評価を行い、絶対評価を実施したと書いてございますが、これは学習期間が短いことによって、例えば単元によっては4つの観点すべての評価資料が得られない場合がある。長い期間でじっくりと子どもの学習の進歩の様子ですとか成長の状況を見ながら、それぞれの観点に沿って評価資料を集めて評価を行う、そういった意味での絶対評価を実施したこと。

(3) 夏季休業前に国語と算数の評価を保護者に示すため、ミニ通知表を作成したことと、

(4) ミニ通知表と併せて夏季休業中に個人面談を実施したということ、この2点につきましては、学期の区切りが9月の終わりのところに前期の区切りがございますので、いわゆる成績を出すのが1学期の学習についてはまだ評定が出ない状況でございます。

しかしながら、夏季休業を迎えるにあたっては、国語と算数の1学期間の子どもの進歩した点等をお知らせする必要があるがございますので、その国語、算数の途中経過の報告と夏休みの生活アドバイスという趣旨から、このミニ通知表というものを作成し、保護者に渡すという取り組みを進めました。夏休みの過ごし方を、面談を通して各家庭にも理解を求めるといった取り組みを行っています。

また(5)、前期と後期の間のところに秋休みの期間がございます。これは平日5日間、それから、その5日間の前後の土日を合わせますと全部で9日間秋休みに入るわけですが、その秋休みの期間を利用して、地域との連携によるチャレンジ講座というものを実施しています。

具体的には、そのチャレンジ講座、例えば保護者の方ですとか地域の方に講師にきていただいて、玉川上水の観察会ですとか、自然素材の工作教室、農業体験教室、手打ちうどん、手打ちそば、お団子づくり、ミニバスケットボール、パソコン、囲碁、和太鼓等、こういった講座を毎年25講座、開催し、講師の方に学校に入っていただくという取り組みを進めることが二学期制を導入したことによって実現したことでございます。

二学期制の成果としては3点ございますけれども、特に先ほどのチャレンジ講座等によって保護者、地域との連携による教育活動の展開ができたということ。

また、始業式、終業式が1回ずつ減ったことで、それまでの指導計画のあり方を見直し、授業時数を確保するということができ、教師の意識が高まったということ。

また、ミニ通知表や個人面談等により学習目標を明確に持たせるという指導の工夫ができたということ、そのようなことが挙がっております。

ただ、二学期制については課題もございまして、そこに7点並んでおります。

その中でも特に(4)の秋休みの実施に伴う、近隣小・中学校との教育活動での整合性の確立というところ、この点は実施校が1校だけでございましたので、例えば小中連携とか他の小学校との連携活動を実施する際には、このことが逆に隘路になった場合もございました。特に近隣小学校と異なる教育活動に戸惑いが見られたり、保護者の方の中にも同じ学期に直してほしいというようなお声もあったというふうに聞いております。

これまでの成果と課題は以上ご報告をさせていただいたとおりでございますが、これまでの間に、本校では都民の日を授業日にかえることですか、土曜日の授業を実施すること等、導入当初の授業時数の確保から実施をしてきた部分が、他の工夫によってその部分が確保できる状況も生まれてきたということもございます。

そのようなことから、平成23年度以降の教育課程の編成については、この二学期制で取り組んだことの成果を取り入れながらも、新しい学習指導要領による教育課程の編成実施の時期を小学校は来年度から迎えますので、他校との教育活動の一定のまとまり、そういったものも揃えて実施をしていくということが必要になってくることから、来年度からは二学期制での成果を生かしつつ、三学期制での教育課程の編成実施をしたいということを考えております。

なお、中学校についてでございますが、中学校も現在9校が二学期制を採り入れておりますが、中学校も平成24年度から新しい教育課程の実施になりますので、その前年度にあたる平成23年度は、三学期制の試行を中学校長会の研究として実施したいというような申し出が校長会からあり、抽選でその実施校を平成23年度の試行の学校として校長会のほうで決めております。

その学校が第三中学校、第六中学校、第七中学校、第八中学校、予告でご報告をいただいておりますので、またこの研究の成果を踏まえ、中学校においても二学期制の検討は改めてさせていただいたらと考えております。

以上です。

○中村委員長 提案説明ありがとうございます。

本協議は、本年第12回定例会の協議で事務局がこの学期制云々を見直す方向性を探るために、学校二学期制として我々が幅広い教育的見地から協議してきたところです。しかし今日の議題は二学期制（小学校）について、ということが議題でございます。これは今ご報告いただきましたとおり、小学校についての実施の結果を踏まえながら管理運営規則に係わる三学期制での実施の方向が提案されたわけです。また、中学校についても、平成23年度から試行が4校ということで提案がございました。

しかしながら、教育課程の編成権は学校にありますので、今回提案いたしまして、教育委員会の立場として何か質問とかご意見があったらよろしくお願ひしたいということで協議に

しているわけでございます。何かございます。

古岡委員、お願いします。

○古岡委員 この二学期制については非常に私も興味を持ちまして一般新聞などでも読んでいたのですが、批判が多い中、上砂川小学校は児童数 660 名という大所帯で一定の成果を収められたことは驚くべきことだと思います。

○中村委員長 しかしながら課題も多いので、二学期制での成果を生かしつつ三学期制にしていきたいと。特に立川の場合、小中連携ということもきちんとやっていて、先ほどの課題のところの(4)に書いてあった整合性の問題もあるということで、しかも先ほどの課題のうち、授業時数の確保という点はいろいろな工夫で解消されたということがございましたので、今の報告を受けて、この方向でよろしいですか。

田中委員、お願いします。

○田中委員 並木指導課長から話があったように、三学期制での教育課程編成、その実施という考えが示されましたが、私もその方向で考えていただきたいと。

理由については、先ほど二学期制の課題が7つありますけれども、その他にもあると思います。それらの結論を言えば、小学校という発達課題あるいは発達段階の中では厳しいと判断しております。

是非、先ほど説明があった方向でお願いします。

○中村委員長 第12回定例会でも、子どもの学習のスパンと言いますかサイクルと生活のサイクルと健康づくりのサイクルが一致することが大事で、特に小学生の場合、その3つがうまく長期休業と一致することが大事だということがあったと思います。

宮田委員、お願いします。

○宮田委員 試行的に中学校のほうでも三学期制がというお話がありましたけれども、この場でお答えいただくのは難しいと思うのですが感想として、こうなりますと中学校間の連携とかそういった体制はどうなるのかなと。特色ある教育活動ということで特色をそれぞれの地域の実情に合わせて打ち出している学校教育の、立川の場合は運営ですけれども、さらに三学期制と二学期制の学校が出てくるということで、そういったことはどう考えられるのかと少し心配になります。

○中村委員長 指導課長。

○並木指導課長 小学校からは、中学校間の連携が二学期制においてどのような影響があるのかというのは来年度の試行の中から捉えていくということなのですが、今、立川市の連携教育は中学校区を基本にしておりますので、その中学校間の連携以上に小学校と中学校との整合性の課題のほうが大きく感じているということでございます。

○中村委員長 よろしいですか。

○宮田委員 わかりました。

スポーツの交流とかあると思うので、そこのあたりがやや心配です。

○中村委員長 わかりました。

それでは、これは我々が決定ということではなく協議でございますが、どちらかと言うと報告的で、編成権は学校長にございますので、今のは報告ということで確認してよろしいでしょうか。

〔「はい」との声あり〕

○中村委員長 それでは、協議（２）二学期制（小学校）について、事務局提案の実施を確認いたしまして、協議を終了したいと思います。

次は協議（３）人事構想案（教育管理職）について、に進むところでございますが、それに先立ちまして議事進行についてお諮りいたします。

協議（３）人事構想案（教育管理職）について、は秘密会にしたいと思いますが、異議ございますか。

〔「異議なし」との声あり〕

○中村委員長 では、この件については秘密会にいたします。

したがいまして、４その他を先議いたしましてよろしいですか。

〔「はい」との声あり〕

○中村委員長 では４その他を先議して、そして協議（３）は秘密会で実施したいと思います。

◎その他（１）

○中村委員長 その他、立川市市民体育大会駅伝大会、小学校ロードレースのコース変更について、伊東スポーツ振興課長、お願いいたします。

○伊東スポーツ振興課長 それでは、立川市市民体育大会駅伝大会のコース変更について、ご報告申し上げます。

立川市市民体育大会駅伝大会は立川市陸上競技協会主催のもと、立川公園陸上競技場と多摩川沿いの堤防コースとして地区対抗の部と中学生の部として開催してまいりました。

今年度は、立川市役所の新庁舎落成を記念し、立川市役所をスタートし、立川警察署、昭和記念公園管理事務所、災害医療センターを通りまして、東京地方裁判所立川支部を左折し、立川市役所に戻るコースとして平成 23 年 1 月 16 日曜日に開催する予定としております。

また、今回は新たに立川市駅伝競走と小学生ロードレース大会として、立川市在住・在勤・在学の部を新設し、同時期に開催することとして計画をしております。そのため、市内の団体等に対して必要な働きかけをしております。立川市役所としても現時点では 5 チーム出場する予定となっております。

報告は以上でございます。

○中村委員長 今の件について質問、よろしいですか。

〔「ありません」との声あり〕

○中村委員長 終了いたします。

◎その他（２）

○中村委員長 小林学務課長、お願いいたします。

○小林学務課長 私から、午前中にファックスをお送りいたしまして、先ほど文書箱のほうにもお入れしたところでございますが、第九小学校での感染性胃腸炎疑いの集団発生につきまして、ご報告させていただきます。

昨日、12月8日でございますが、朝、第九小学校から5年1組の児童17名が嘔吐、発熱、腹痛を訴えて欠席したという報告を受けました。

学校では、学校医に連絡してご意見を求めるとともに、多摩立川保健所に報告をいたしました。

午後1時半、多摩立川保健所が来校し、学校と欠席状況の確認とか、例えばの話ですが、ノロウィルスだとした場合の拡大防止方法についての指導を受けたところでございます。

また、検体の提出の依頼ということで、ご協力いただけるご家庭に検体を提出していただくということでキットをお預かりし、その後、多摩立川保健所がお帰りになった後、ご協力いただける保護者のところへキットをお届けいたしました。検査の結果が出るのは2日間ほど必要だということでございます。

同日、その後また、同じクラスで2名の児童が同様の症状で早退いたしました。

そのあと保健所の指導等を受けまして、5年1組の保護者には状況のお知らせと、その症状に対応するための、体調が悪かったりしたら医師の診察を受けてくださいなどのお願いのお知らせを出しております。

また、本日には全保護者にお知らせを出す予定となっております。

本日12月9日現在の状況でございますが、欠席児童は24名でございます。その内16名につきましては、嘔吐、下痢等も治まりまして回復に向かっているというところで、新規に発症したお子さんは8名で、昨日お休みしましたが本日出席できた方は1名という状況になっています。

昨日から第九小学校では、インフルエンザ等もございますので、通常手洗いとうがいの励行はしておりますが、さらにお手洗いとか教室等の消毒の徹底を行っております。今後も学校医と連携をとりながら、いろいろな行事の延期や、子どもたちの心のケアに努めてまいりたいということでございます。

報告は以上でございます。

○中村委員長 質問、その他ありますか。よろしいですか。

〔「はい」との声あり〕

○中村委員長 では、今後の対応についてもよろしくお願いしたいと思います。

その他、ほかにごございますか。

〔「ありません」との声あり〕

○中村委員長 なければ、次回の確認を先にしていきたいと思います。

平成22年第24回立川市教育委員会定例会は、12月24日13時30分より、新庁舎104会議室にて開催いたします。

◎協 議

(3) 人事構想案(教育管理職)について(秘密会)

○中村委員長 それでは、協議(3) 人事構想案(教育管理職)について、協議いたしますが、先ほど秘密会を承認いただきましたので、本協議を秘密会といたします。
暫時休憩いたします。

午後 2時48分休憩

午後 3時01分再開

○中村委員長 休憩を解いて、会議を再開いたします。

◎閉会の辞

○中村委員長 平成 22 年第 23 回立川市教育委員会定例会を閉会いたします。

ありがとうございました。

午後 3 時 0 2 分閉会

署名委員

.....

委 員 長